2024 年 10 月 9 日

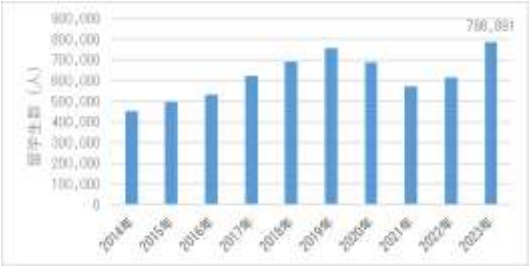
オーストラリアの国際教育産業を取り巻く状況

一般財団法人自治体国際化協会シドニー事務所　研修生　國﨑　麗子

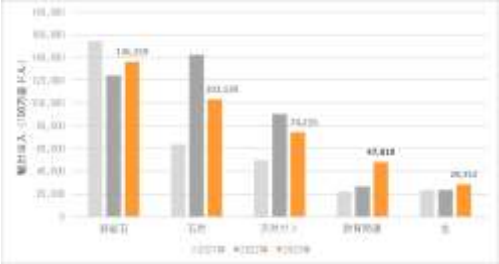
１．　オーストラリアの国際教育産業について

海外からの留学生の受け入れは、オーストラリアの経済を支える重要な産業の一つである。

連邦政府の公表資料によると、2023 年に、学生ビザを取得し、オーストラリアの高等教育機関や職業訓練専門学校等で学んだ留学生の数は、約 78 万 7,000 人であった[1]。教育分野は、鉄鉱石、石炭、天然ガスに次いで４番目に大きな輸出品・サービスであり、その経済効果は、年間 478 億豪ドル（約 4 兆 5,000 億円）に上るとされている[2]。また、留学生からの授業料収入は、多くの大学にとって、政府の補助金に次ぐ大きな収入源となっている。



（表１）オーストラリアの留学生数の推移
（出典）連邦政府教育省の公表資料[1]を基に筆者作成



（表２）オーストラリアの輸出品・サービス上位５品目
（出典）連邦政府教育省の公表資料[2]を基に筆者作成

２．留学先としてのオーストラリアの魅力

オーストラリアは、世界トップクラスの大学[3]や質の高い教育、多文化共生の社会、豊かなライフスタイルなど、留学先としての魅力を多く持った国である。

加えて、連邦政府は、授業料の保証など留学生の権利保護や質の高い教育の維持を目的とした法律「海外学生教育サービス法（ESOS 法）」を定め、留学生が安心して学ぶことのできる環境を整え、世界各国から留学生を呼び込んできた。

その結果、オーストラリアで学ぶ留学生の数は、米国、英国に次いで多く[4]、高等教育における留学生または外国人学生の割合（21.9%）は世界で２番目に

---

[1] Australian Government Department of Education「International student numbers by country, by state and territory」留学生数を国別にみると、中国（約 16 万 6,000 人）、インド（約 12 万 6,000 人）、ネパール（約 6 万 2,000 人）の順に多い。日本からの留学生数は、第 17 位の約 9,500 人。

[2] Australian Government Department of Education 「Education export income - Calendar Year」

[3] QS「World University Rankings 2025」オーストラリアの大学９校が世界ランキング上位 100 校に入る。

[4] International Organization for Migration 「World Migration Report 2024」

大きい[5]など、世界でも有数の留学生受入れ国となっている。

３．国際教育産業を取り巻く課題と連邦政府の政策転換について

しかし、最近では、国際教育産業を取り巻く環境に変化が見られる。

オーストラリア国内では、コロナ後の経済再開に伴い、留学生を含む海外からの移民が急増したことで、深刻な住宅不足や家賃の高騰を引き起こしているという見方が強まった。このような状況を背景に、連邦政府は移民を抑制する方向に動き出した。2024 年７月、連邦政府は、移民抑制の取組みの一環として、学生ビザ申請料金の倍増[6]、短期卒業ビザの期間短縮及び年齢要件の引下げ（35 歳以下に制限）[7]などを導入した。さらに８月には、2025 年の新規留学生入学者数を 27 万人に制限すると発表した。連邦政府のジェイソン・クレア教育大臣は「これにより留学生の数はパンデミック前の水準に戻る。将来にわたる国際教育分野の持続可能な成長が確保される。」と述べている。

４．移民抑制の取組みによる国際教育産業への影響について

連邦政府の取組みに対し、国内の大学関係者からは批判の声が上がっている。

オーストラリア大学協会のデビッド・ロイド会長は、「留学生の授業料は、大学の研究、教育、施設整備における政府の資金不足を補っている。国際教育産業は約 500 億豪ドルの経済効果があり、約 25 万人の雇用を支えている」とし、留学生数の制限が大学運営や国内経済に深刻な影響を与えると批判している[8]。

オーストラリア留学生協会のイェガネ・ソルタンプール会長は、「多くの学生たちが他の選択肢を模索するようになった」と述べた[9]。実際に、留学生数が２番目に多いインド人学生について、2025 年には新たな留学先を検討する可能性が高く、選択肢として留学生の誘致に積極的で教育コストの低いアジアやヨーロッパの国々があると示唆した記事[10]も見受けられた。留学を目指す各国の学生がオーストラリア以外に流れる可能性が考えられる。

オーストラリアは、海外からの留学生を積極的に受け入れることで、社会と経済に大きな利益をもたらしてきた。国際教育産業を取り巻く課題に、今後、連邦政府がどのように対応していくのか、また、関連政策が日本人学生を含む留学生にどのような影響を与えるのか、引き続き、動向を注視していきたい。

※為替レート　１豪ドル＝94 円

---

[5] OECD「Share of international or foreign students in tertiary education (2021)」
[6] 学生ビザ申請料金は 710 豪ドル（約 6 万 7,000 円）から 1,600 豪ドル（約 15 万円）に引上げ。
[7] 修士号（研究）と博士号（PhD）の卒業生に限っては 50 歳未満のまま
[8] オーストラリア大学協会「NATIONAL PLANNING LEVEL LIMITS NATION’S AMBITION」(2024 年 8 月 27 日)
[9] ABC NEWS 記事「Visa fees for international students double, sparking outrage」(2024 年 7 月 1 日)
[10] The Times of India 記事「New Cap on Australian Student Visas： What It Means for Indian Students in 2025」(2024 年 8 月 27 日)